

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレシス千葉みなとベイフロント 新築工事	階数	地上12F、地下0F
建設地	千葉県千葉市中央区問屋町111-3	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	233 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年4月5日
敷地面積	981 m ²	作成者	株式会社プラスデコ
建築面積	460 m ²	確認日	2022年4月5日
延床面積	4,298 m ²	確認者	株式会社プラスデコ

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 本建物は、千葉みなと駅に程近い場所に計画された集合住宅である。敷地内には緑地を設けて、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。		その他 0
Q1 室内環境 ・遮音性能の高いサッシを採用し、建物内の音環境に配慮する。 ・建築材料は、JIS・JAS規格のF★★★★を全面的に採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	Q2 サービス性能 ・劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、耐用性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内に中、高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。
LR1 エネルギー ・LED照明の採用により、エネルギー使用量削減に配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・ノンフロン断熱材を採用し、ODP値及びGWP値低減へ配慮する。	LR3 敷地外環境 ・十分な駐車スペースを確保することで路上駐車等を防止し、周辺道路の渋滞緩和に配慮する。 ・広告物照明の設置はせず、光害の抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される